

# 上島町消防だより

## 平成19年の出動件数報告

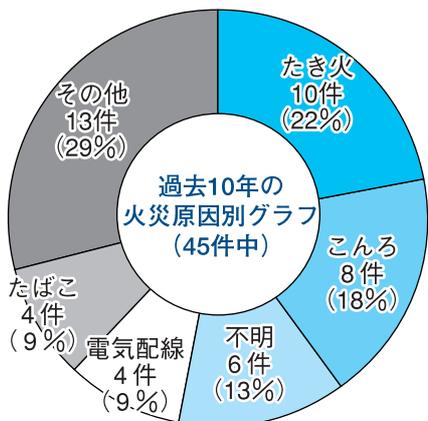
### 乾燥時に起こる大火災に注意!

平成19年1月から12月までの1年間に、上島町管内において、4件の火災が発生しました。(前年に比べ1件の減少)

火災種別では、建物火災3件、その他火災(雑種地)1件。出火原因は、コンロ1件、風呂かまど1件、不明・調査中2件でした。

過去、10年間(平成10年から)の総出火件数は45件で、出火原因は多い順に、たき火10件、コンロ8件、不明6件、電気配線4件、たばこ4件、その他13件となっています。

過去の事例をみると、平成7年の岩城山林火災、平成12年の生名家屋火災のような大火災は、いずれも春先に発生しています。2月・3月は乾燥した空気と強風により、一気に大火災になる恐れがあります。これからの季節は特に火の取り扱い・火の元に十分注意しましょう。



## 3大疾患

### 増加傾向!

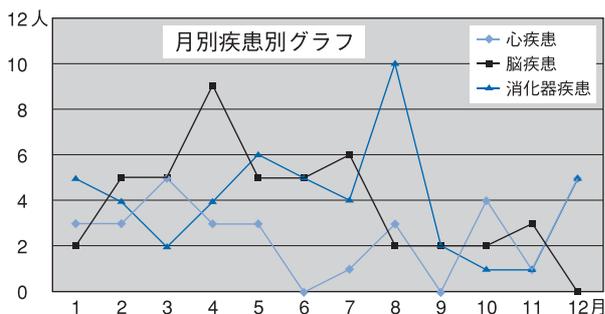
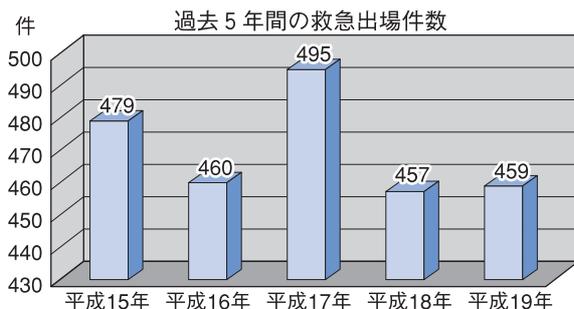
平成19年中の上島町消防本部の救急出場件数は、459件でした。

過去5年間の救急出場件数は下のグラフのとおり、年間450〜500件ほどの件数で推移しています。

救急出場の内訳をみると、急病321件、一般負傷77件、その他32件、交通事故19件、労働災害5件、運動競技2件、自損行為2件、火災1件でした。

また、急病の中でも重篤な疾患である脳疾患・心疾患の傷病者の人数は年々増加傾向にあります。特に、食の欧米化による、ライフスタイルの変化や、喫煙、飲酒、食生活など日常の生活習慣が大きく関与しています。近年では高齢者だけでなく、若い方に増加しているようです。

これらの疾病は比較的寒い時期に多く発症し、夏場には急性胃腸炎などの消化器系の疾患が多くなっています。



## その灯油かん

### 何年使っていますか?

灯油かんは5年を目安に取り替えるのが安全だということをご存じですか?

5年未満の場合でも、雨・風・日光の当たるところに保管されている灯油かんは、性能の低下が進みます。物置のような暗くて温度の低い場所に保管しておくことが一番です。

### ガソリンは絶対に入れないで!

灯油かんにガソリンを入れると、かんが侵され、変形し、もれるおそれがあります。絶対に入れないでください。

## 平成19年出動件数

	火災	救急
平成19年(12月)	1	46
平成18年(12月)	0	52
昨 年 比	+1	-6
19 年 累 計	4	459

平成19年12月31日現在

## 火災と救急は119番

※携帯電話からでもつながります

消防本部 77-4118(代)





# 農業講座

## しまなみ農業だより 上島町で増加するイノシシの生態について

上島町では、今まで島にはいなかったイノシシが増加しています。弓削地区では農作物の被害が見られ始め、農家の皆さんには頭痛の種が増えました。また、一般住民の方も不安なことも多いと思います。今回はイノシシの生態について解説します。



### ■イノシシの生態

#### (1) 人里で活動するのは夜

イノシシは警戒心が強く、人間を避けるため、ほとんど夜間に活動しますが、人目につかないところでは基本的に昼間に活動します。身を潜められる人里近くの農地の荒廃がイノシシと人間を近づける原因でもあります。

#### (2) 行動範囲は意外にせまい

定住期と移動期を繰り返し、生殖期以外は子をつれた成雌の集団と単独成雄、若齢雄のグループで行動します。定住期の行動範囲は2km程度と意外にせまい範囲で行動します。水が近くにあり身を潜めることのできる落葉広葉樹林や竹やぶに好んで生息する。

#### (3) なんでも食べる雑食性

雑食性で何でも食べます。タケノコ、クズの根、イモ類、豆類、野菜類、かんきつ類、ドングリ、ミミズや昆虫類などを食べます。山のえさに比べ野菜や果物、残飯などは栄養価も高く放置することは餌付けをしているようなものです。放置しないように処理には注意してください。

#### (4) 旺盛な繁殖力

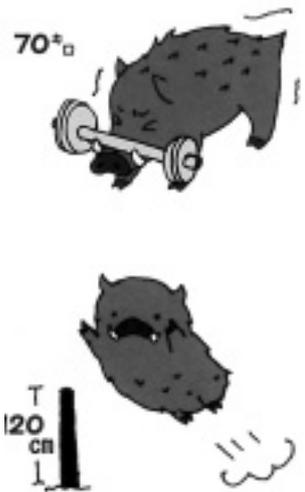
雌は2歳で繁殖に参加します。基本的に年に1産で4月～6月に1回に5頭前後を出産します。寿命は雌が10年、雄は6年程度と云われています。

#### (5) 慎重な性格と高学習能力

警戒心が強く臆病ですが、安全だとわかると大胆な行動をします。学習能力が高く、光・音・臭いは必ず慣れを生じ効果は一時的です。

#### (6) 体に似合わず俊敏で強靱な体力

体重は60kg～100kg超級。最大1.2mを飛び越え、臭覚は犬並み、最大で70kgの物を鼻で持ち上げ、地面を掘り返すのが得意です。障害物は基本的には潜り抜けますが20cmの隙間なら成獣でも地面を掘らずにくぐり抜けます。



### ■農作物の被害防止対策

農作物被害対策は、上記の生態をよく理解して補強を行うなどの対策が必要です。

対策の基本は、①警戒心を解く茂み（耕作放棄地）を少なくする環境整備。②フェンスや電気柵で効果的に囲む進入防止。③畑にやってくるイノシシを駆除（山の中のイノシシではない）の3点の対策をバランス良く行うことが重要です。

### ■イノシシに出くわした時の注意

普通、イノシシと人が出くわした時はイノシシの方から逃げしてくれるので慌てることはありません。滅多に無いことですが発情期や分娩後は（冬～初夏）攻撃的になるので注意が必要です。人なれしてくると人に危害を与えるイノシシも現われることがあります。

次のように逃げないイノシシに出くわした時には注意をしてください。

- ①ウリボウ（子）を連れてくる時。 ②たてがみを立てていかにも威嚇をしていると分かる時。
- ③シュー、カッカッ、クチャクチャ（威かく音）という音を出すイノシシに出くわした時

こんな時は、背中を見せずゆっくりと後ずさりしてその場から離れること。後ろを向いて走り出したりすると襲ってくるがあるので決して慌てないことです。また、ウリボウ（子）だけがいる場合も近寄らないこと（必ず親が茂みなどの中にいる）。